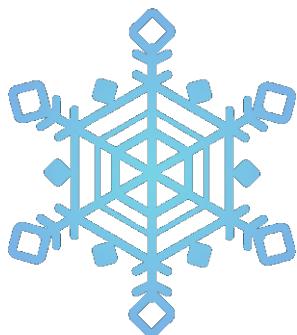


令和7年度

ふ ゆ て ん ら ん か い

冬の展覧会



開催日時：令和8年1月9日(金)・10日(土) 13日(火)～15日(木)

一般・保護者公開時間(土)：10:00～12:00 ※写真撮影は御遠慮ください

開催会場：講堂(体育館)…平面作品、

多目的ホール、図画工作室…立体作品



埼玉大学教育学部附属小学校

《作品のしょうかい》

1年1組『できたらいいな こんなこと』(平面)

例えばぼくの大好きなサッカー。サッカーに「ゆめのたしざん」をしてみると…。ボールは大好物のメロン、サッカースタジアムは宇宙で、お客様はエイリアンで…。「こんなことができたらいいな…」という夢を絵に表しました。

1年2組『てでさわってかくのきもちいい』(平面)

液状の紙粘土に絵の具をまぜると、いろいろな色の楽しいどろどろ絵の具の完成。指や手で感触を楽しみながら、画用紙にのびのびとかきました。さらにクレヨンでかき足して、自分の思いを表現しました。

1年3組『はこと はこを くみあわせて』(立体)

わたしたちのまわりにあるいろいろな形や色の箱！！それをたくさん集めたよ！！いろいろな箱を組み合わせながらどんなものをつくろうかと考えました。今まで使ったことのある材料も使ってつくりました。

2年1組『にじ色の国から』(平面)

「にじ色の国って、いったいどんなところ？」それはね…。好きな形に切った型紙を貼り、ローラーに絵の具をつけて転がします。型紙をはがして、「にじ色の国」ができました。自分の願いを込めながらかき足して、世界が広がりました。

2年2組『ふしぎなたまご』(平面)

そこにあるのはふしぎなふしぎなたまご…。中にはなにがあるのかな？おっ！？たまごにひびが…中から何が出てくるんだ！？一人ひとりがいっしょに考えたたまごの中身とその風景をぜひご覧ください。

2年3組『つつんではっけん！粘土の力』(立体)

新聞紙に土粘土を包んで焼くと…。包むことで普段できないふしぎな形ができました。作っている途中や焼いたときに粘土が割れてしまうところもありましたがそこもまた魅力となっています。一人ひとりがよく考えてつくりだした形を是非ご覧ください。

3年1組『塊に魂を吹き込んで』(立体)

塊（かたまり）の粘土を触りながら、思いのままにつくりました。するとどうでしょう。予想していなかった面白い形になりました。子供たちが粘土の「塊」に、新たな「魂」を吹き込みました。皆さんはこの作品のよさがわかりますか？想像を膨らませて御覧ください。

3年2組『奮闘!! クリスタルアニマル』(立体) ※図画工作室での展示

透明パックやペットボトルを組み合わせると…、あっと驚くようなクリスタルアニマルに変身！しかもこのクリスタルアニマルに光を入れると…、もっと素敵なクリスタルアニマルに変身!!暗闇でも存在感を放つクリスタルアニマルに、是非驚きながら御鑑賞ください。

3年3組『キラキラさんが集まると！？』(平面)

キラキラの材料を、切ったり、折ったりして、キラキラの世界をつくろう！キラキラの材料の組合せを試しながら、表したいことを見付けました。材料の特徴を生かして、自分だけのキラキラの世界をつくりました。

4年1組『身近なモノをエボ☆リューション！』(立体)

自分の身近にあるモノを、想像力を働かせて進化！進化したらどんな姿になるのかな？身近なモノの形から見立て、特徴を考え、図鑑にまとめました。あなたの身近なモノも進化したらきっとこんな姿なのかもしれませんね。

4年2組『へんてこ山の物語』(平面)

あるところに、とがっているようなでも丸っこい、道はくねくねしていたり、真っ直ぐだったり、色は今までに見たことがないような山がありました…。自分の思うへんてこ山をどのように表現するのか、イメージに合う表し方を精一杯考えました。

4年3組『紙の箱 大変身！』(立体)

紙の箱をカッターナイフで切ったらねじねじ、ぐるぐる…面白い形が見えてきた。箱に切り込みを入れて開いてみたら、違う形が見えてきた。それらを組み合わせて面白い形に大変身させました。大変身した箱の姿をぜひ見てみてください。

5年1組『アルミ缶研究所』(立体)

普段よく見るアルミ缶。でも、このアルミ缶は違います。「きって、ひらいて、くっつけて…」5年生の技能と想像力を発揮させて、アルミ缶を大変身させました。もう、ただのアルミ缶ではありません！どんな変身をとげたのか、見てください。

5年2組『飛び出す！物語の1ページ』(立体)

あなたの目の前にある本を1ページ、開いてみると、そこには不思議な世界が広がっています。その本から飛び出してくるのはその世界の住人たち。本から飛び出してくるものをイメージして、工夫してつくりました。ぜひあなたもその本を開いてみてはいかがでしょうか。

5年3組『鏡よ、鏡』(立体)

「鏡よ、鏡、素晴らしい世界を見せておくれ。」…すると、鏡の中に紙様が現れ、あっと驚く世界が鏡の中に映りました…。どんな世界が鏡に映ればいいかな…鏡の特性をよく考えて、発想しました。鏡の特性を生かした作品を御覧ください。

6年1組『3Dアートボックス』(平面) ※多目的ホールでの展示

小さな小さな箱の中に、「奥行き」を意識した世界が広がっています。箱の中に絵が入っている？覗いてみたら箱の中の絵は、何層にも重なって表現されています。何層にも重なっているからこそその立体感を味わえるかと思います。ぜひ覗いて見てみてください。

6年2組『墨の達人』(平面)

「墨」と言ったら、書写でしょ？いえいえ、図工だって、墨はすてきな材料になります。線や点の美しさ、黒色だけではない墨の奥深い色、空白に広がる宇宙…。字を書くためだけではない墨の世界がここに広がっています。じっくりと御覧ください。

6年3組『木をけずって、みがいて』(立体)

1本の角材から切り方、つなげ方を工夫するとまっすぐだった木が、くねくねと曲がっていきます。カクカクした角材が角をけずるとつるつる丸くなっています。自分のイメージに合わせて板材などを付け足しながら表現を工夫してみました。

【冬の展覧会のみどころ】

冬の展覧会では、それぞれの学年で新しい材料や用具を使い、様々な形や色にふれ、豊かなイメージをもてるようにしてきました。様々な材料やよさと関わることは、子供たちの創造力や表現力を高めることにもつながります。どれだけ材料と対話し、関わりをもったかというところも、御覧ください。

一つ一つの作品には、子供たちの思いや願いが十分に込められています。近くに寄って、子供たちの工夫やこだわりを見付けてください。



【子供たちの作品について】

子供たちは「こんなことを表したい」「こんな形や色にしたい」と、それぞれが思いをもって作品をつくります。作品とお話をしながら思いを実現するために、材料を選んだり、表現を工夫したりします。こうした過程がとても大切なことです。

つくっているところを見ていなくても、でき上がった作品をよく見てみると、その子の奮闘ぶりが伝わってきます。できばえに関係なく、一生懸命に工夫していること、心をこめて取り組んだことが伝わってきます。

子供のすばらしい作品とは、できのよしあしではなく、その子の思いが、見る人に伝わってくる作品ではないでしょうか。作品を見ながら、子供たちの心や思いを受けとめ、それぞれの『その子らしさ』をじっくり味わってください。



【冬の展覧会の感想をお聞かせください！】

スマートフォン等から、会場内に掲示されているQRコードを読み取っていただき、皆様の声をお聞かせいただき、今後の表現活動や展覧会に生かしていけるようにしたいと考えております。ぜひ、忌憚のない御意見・御感想をお聞かせください。

よろしくお願ひいたします。

